

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		地域防災訓練活動育成事業	担当課	交通防災課
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち	計画期間	年度～
	施策	防災対策の推進	種別	法定事務
	基本事業	市民の防災意識の向上	市民協働	補助事業
予算科目コード		01-020110-06 単独	根拠法令・条例等	・災害対策基本法第5条第2項 ・守谷市自主防災組織活動育成事業補助金交付要綱

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 自主防災組織活動育成補助事業により，自主防災組織の結成時や資機材整備時に補助を行うことにより，組織の結成促進と育成強化を図る。 ・結成事業補助10万円×3団体，資機材整備事業補助20万円×3団体，資機材更新事業補助10万円×23団体 ・防災土育成事業補助3万円×3人，資機材整備（コミュニティ助成事業）1,200千円 また，発災対応型防災訓練の実施について指導やアドバイスを行うとともに，専門家による防災講演会を実施する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
災害時の初動対応や避難体制の強化を図るため，自主防災組織の結成促進と発災対応型防災訓練を実施し，災害時における被害の軽減を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民の防災意識を高め，災害時に適切な対応ができるように努める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
地域での災害時の初動対応を担う自主防災組織の結成率は，年々わずかではあるが向上している。引き続き未結成自治会の結成促進に努めるとともに，既存組織についても防災訓練への参加を促し，組織の活性化につなげていく必要がある。	・5月…各区長等を対象とした「防災講演会」の開催 ・通年…各地域等に応じた防災講話を実施 ・通年…各まちづくり協議会防災部会等の説明会において実施 ・通年…自主防災組織活動育成補助事業により，組織の結成促進と育成強化を図る。 結成事業補助（限度額10万円） 3団体 資機材整備事業補助（限度額20万円） 3団体 資機材更新事業補助（限度額10万円） 23団体 防災土育成事業補助（限度額 3万円） 3人 ・通年…「守谷の地域防災を考える会」の協力のもと，自主防災組織の結成相談，発災対応型防災訓練の実施についての指導助言を行う。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
防災講演会，防災講話，まちづくり協議会防災部会等への説明会を通じて市民に自主防災組織の重要性を周知するとともに，自主防災活動育成補助事業の活用や「守谷の地域防災を考える会」の協力を仰ぎ，組織の結成促進と活性化を図る。	※5月の各区長を対象とした「防災講演会」については，新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ※各地域との防災講話等についても，新型コロナウイルス感染拡大のため，縮小となっている。
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	本年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、講演会が中止になり、また、自治会での会議が少なくなり、自主防災組織の立ち上げが少なくなった。令和3年については、例年の自主防災組織の立ち上げ数を見込んだため増額となる。

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の取組（評価、課題への対応）
防災講演会を実施するとともに、商工会女性部、シニアクラブ、まちづくり協議会及び松並青葉地区の転入者など、参加者毎にテーマを変えて防災講話を実施することで、自主防災活動の重要性を周知した。 また、防災機能を拡充したMorinfoを活用した発災対応型防災訓練を実施することで、実際の災害を見据えた実働的な訓練を実施した。	新型コロナウイルス感染リスクの拡大により、防災講演会を中止するとともに、防災講話の実施回数も減少傾向になったが、リスク減少に合わせ、講話環境を適切に管理しながら、まちづくり協議会を中心に防災講話を行った。 また、ホームページ、SNS、広報紙等を活用し、コロナ禍における避難要領等について広報を行い防災意識の向上に寄与した。 市の防災訓練においても、市内自主防災組織の代表及びまちづくり協議会、みずき野地区と協働でコロナ禍における避難所訓練を実施し、防災活動の重要性を協調した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
自主防災組織結成率 （設立町内会全世帯数／市内全世帯数）（％）	66.10	0.00	0.00	72.10	73.70	75.70	78.00
訓練参加人数（人）	2,904.00	11,754.00	12,685.00	11,537.00	9,225.00	2,173.00	5,500.00
成果の動向（→その理由）							
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	コロナ禍により、防災講演会は中止となったが、ホームページ、SNS、広報紙等での広報活動及びまちづくり協議会を中心とした防災講話を推進するとともに、市防災訓練においてコロナ禍の避難所運営について市内自主防災組織の代表及びまちづくり協議会、みずき野地区と協働で実施したことにより自主防災組織の必要性、防災訓練の重要性は向上してきていると思われ、コロナ禍にあっても自主防災組織の結成率も上昇傾向にある。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
■ 拡大 □ 縮小 □ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	今後も自主防災組織の結成促進と育成強化に向けて、資機材整備事業等の補助事業を継続する。 また、コロナ禍での避難所運営について、市民と関係機関が連携して行う防災訓練を継続して実施するとともに、地域の実情等に応じた防災講話についても継続して実施していく。 さらに、コロナ禍でも実施できる防災講演会について検討する。					

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	2,586	3,315	2,386	3,840	4,000
	国・県支出金	15	15	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	2,492	3,050	1,200	0	0
	一般財源	79	250	1,186	3,840	4,000
正職員人工数（時間数）		653.00	931.00	371.00	650.00	650.00
正職員人件費		2,726	3,820	1,502	2,515	0
トータルコスト		5,312	7,135	3,888	6,355	4,000